

みたけ夢だより

12月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

人とのかかわりを通して

校長 長尾 晴美

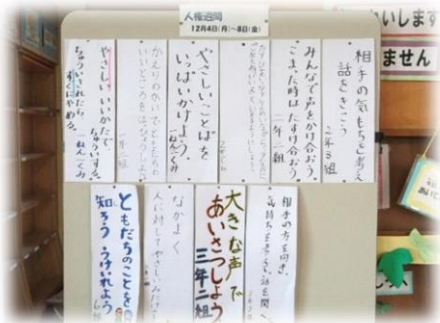
先日「治安に関する世論調査」を内閣府が行ったという報道がありました。自分が犯罪に合うかもしれないと不安になる場所はどこかという問いに対して、「インターネット空間」を挙げた人が6割に上り、トップだったそうです。5年前の調査では、ネット空間は「繁華街」「路上」に続いて第3位だったことから、ネット上でつながる危うさや不安が広がっていることがわかります。

今年4月に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。国語・算数に関する調査と、学習意欲・学習方法・学習環境・生活等に関する質問紙による調査の2種類が実施されています。質問紙の結果を見ると本校は、食事や睡眠などの基本的な生活習慣に関する項目について意識が高いことに加え、挑戦心や達成感、規範意識、自己有用感を問う12の項目において全てが平均より上回っていることがわかりました。特にその中でも「自分には良いところがある」「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」という項目が大きく上回っていました。地域や社会、外国に対する興味関心を高め、人とのつながりをベースにした自己有用感を、日頃の教育活動を通してさらに高めたいです。



「給食当番ごろうさまでした！」

また、本校の調査結果から、ご家庭の力を感じたのは、ゲームや携帯電話等を使う時間が少なく、家の人と使い方のルールを決め、約束がきちんと守られている割合が高いことです。ネットをプラスに使えるスキルを身につけていくことも大切ですが、情報がますますあふれるこれからの時代、インターネットの中の仮想空間でなく、今、目の前にいる相手に向き合うことのできる力を育てていきたいものです。現実の世界の中で、隣にいる人の思いを想像し、よさを認め合うなど、人との関わりを通してよりよい自分を目指したり、挑戦したりすることで、人間らしい生き方のできる社会を創っていくことが求められています。



「人権週間へ向けての目標や取組」

12月はいじめ防止啓発月間です。そして人権週間があります。これまでに、各クラスでどのような取組を進めていくか話し合ってきました。今月だけで終わるのではなく、ずっと続けてほしいと願っています。「あいさつ」をはじめとして、自分の身近なところで何ができるのか、是非ご家庭でも一緒に語り合い、見守っていただけたらと思います。